

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年9月号(第162号)

発行責任者 中原 幹男



《時局講演会》 講師：笠松 泰洋先生  
**音楽家から見える今の世界**

2022・8・17 中央公民館ホールにて



写真撮影：玉上 佳彦

5年前「ハーメルンの笛吹き男」に出演した女の子が・・・  
**ミュージカル座公演に出演！**

会長 中原 幹男

2017年9月18日、ところざわ倶楽部10周年記念の目玉行事として、音楽朗読劇「ハーメルンの笛吹き男」公演を主催しました。特別会員の笠松先生台本構成・作曲と、広崎うらん演出・振付、鶴見辰吾朗読で、市内小学生45名が出演し、約700名の観客でミューズ・マーキーホールが満席となりました。



2017年「ハーメルンの笛吹き男」 ミューズにて

そのときに出演した当時小学3年生の女の子が、もう中学生となりましたが、ハーメルンの舞台を踏んだことがきっかけでミュージカルが大好きになり、それからダンスや歌などいろいろ勉強し、ついに「ミュージカル座8月公演 ファミリア！ ～南の島、愛の物語～」の舞台に立ったのです。

ところざわ倶楽部の活動が未来を支える子どもたちにも伝わっていく、素晴らしいことですね。

ミュージカル座 <https://musical-za.co.jp/stage/familiar2022/>

## 「第2回ところざわ倶楽部まつり」開催内容のお知らせ

事業部長 松尾 基昭

7月号広場にて案内しました「第2回ところざわ倶楽部まつり」について、その内容がまとまりましたのでお知らせ致します。

今回の開催に当たっては、WITH コロナ環境下での活動を模索する中、今年度の活動の総仕上げ的な位置付けとして、コンパクトで内容のある企画をとの思いで取り組んできました。

盛大裡に成功させたく考えておりますので、みなさまお誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

日時 2022年9月29日（木）11:00～17:00

場所 所沢中央公民館ホール&ホワイエ

開催内容



### （舞台部門）

#### 出演サークル

#### 演目

特別出演 エレキバンド「ハトヤ」・・・懐かしのベンチャーズ曲演奏他  
 スマイルパイレーツ・・・Let's チアダンスと一緒に  
 楽悠クラブ有志・・・コーラス  
 ドラマティック・カンパニー・・・シェイクスピア朗読劇「冬物語」  
 民話の会・・・ところざわ由来の民話語り  
 所沢の自然と農業サークル・・・野良着ファッションショー&野菜踊り  
 生きいきシニア福祉の会・・・フレイル予防講座  
 懐かしの映画鑑賞会・・・みんなで盆踊り

### （展示部門）

日本画、書、植物鉢、絵手紙、写真、絵日記、生け花、水墨画、  
 版画、植物画、刺繍、陶芸、等々個人作品、および14サークルの活動紹介

7月号でお知らせした音楽療法（佐井佳代子氏）は都合により、エレキバンド「ハトヤ」の演奏に変更となりました。ベンチャーズの曲から昭和歌謡まで、懐かしの曲でまつりの盛り上げに一役かっただけだと思います、

なお、「ハトヤ」は、福原祥三さん（所沢器楽連盟副理事長）を中心としたドラム、エレキギター（2台）、エレキベースの4人編成の、地元でも長く活動する玄人はだしのエレキバンドです。

## 「世界の平和を考える」シリーズ 第13回

## 茶道が果たす平和の役割

中村 静子

「一盃(わん)からピースフルネスを」、これは、鵬雲斎千玄室大宗匠(裏千家15代家元)が、ライフワークとして提唱され、世界中を茶道行脚する理念とされる言葉です。

大宗匠は第二次世界大戦の時、学徒出陣で海軍に入り、特攻隊に任命され過酷な体験をされた事を色々なメディアで語られています。

私も京都で茶道の修行中、実際に何度かお話を伺わせて頂きました。2021年8月14日の京都新聞の戦争体験の話を抜粋してみます。

「45年3月上旬から「残念だが特別攻撃隊の編成が命じられた。今から1枚の紙を渡す。名前を書いて提出せよ」と告げた紙には熱望、希望、否の選択肢が記されていた。

名前を書く以上拒否できない、と熱望に二重丸を付けた。

否を選んだ搭乗員たちもいたかもしれないが、結果的には全員が特攻隊に編成された」徳島白菊特攻隊(大宗匠所屬)は5月24日から6月25日、鹿児島の前線基地から沖縄の近海に5回出撃し、17歳から25歳までの56人が命を落とした。死地に赴く仲間から「靖国で待っとるぞ」、と言われ、「おう、いくよ」といったが、その後、松山飛行隊に転属になり終戦を迎える、とあります。

戦後、大宗匠はご自分の使命を、茶道を通して世界平和を提唱する事とお考えになられました。

そして世界の様々な国の方に、茶道を体験してもらい、その良さを示すことにより、相互理解を深め、平和な関係を築く活動をされることに尽力されたのです。今まで訪問された国は、70か国余りで延べ300回以上に及ぶとの事です。

私も1981年に、タイのバンコク支部の発会式と、日泰文化交流茶会に参加させて頂く機会に恵まれました。

シリキッド王女様もお出ましになるとの事で、大変緊張しましたが、王女様は茶道のお点前の体験をされて、とても楽しんでおられるご様子でした。

又、ご列席の方々も、茶の湯の作法を目の当たりにして、興味深げでした。当日の茶会の菓子は日本から持参しましたが、タイの国旗の配色で、現地の方々が大変喜んでくださいました。この茶会で、民間外交とでも言うべき文化交流の在り方は大変重要なものだとの認識しました。

裏千家の令和3年次のホームページを閲覧しますと、下記のように記されています。

「海外出張所、協会が37ヶ国、112地域にあります。裏千家寄贈の茶室も、ハワイ、ニューヨーク、ワシントンDC、シアトル、ロサンゼルス、バンクーバー、パリ、ロンドン、ミュンヘン、ハンブルグ、ヘルシンキ、メキシコ・シティー、リマ、サンパウロ、北京、天津、大連、広州、杭州、ソウル、釜山、マニラ及びアブダビなど多くの主要都市にあります。

茶道の学術的研究も世界各国で進められており、学問として米国ハワイ大学を始め全米各地の大学にて、またブラジル、中国、台湾、韓国、ロシア、ポーランド等の各大学で正課に取り入れられており、著名な教授や学者によるアカデミックな研究が行われています。」

グローバルな時代に生きる若者達が自国の文化を正しく学び、それを他の国々の人々にも示せる知識を持つ事は大変重要です。個人個人の相互理解が、友情を生み人間同士の交流を深めるのではないのでしょうか。

茶道をただ単に伝統芸術という範疇に留めず、「一盃からピースフルネスを」という気持ちをもって、どなたにも接していきたいものです。そしてそれが世界の平和の一役を担えればと思うのです。

現代は戦争の悲惨さを認識し、後世に伝える為、生徒達は平和学習として、広島、長崎に修学旅行に行きます。

今後、若い人々が、無駄な戦争で亡くなる事の無いよう、民間レベルの交流で「和をもって尊しとなす」と切に願います。





# 文芸講座を受講して

～動乱の鎌倉期を生きた郷土の武将と文学～



講師：竹内 好夫（観世流謡曲名誉師範）

☆ 講演を聞いて 水上 俊彦 （葵の会）

歴史の勉強で鎌倉時代は“いい国作ろう鎌倉幕府”からと教わった。頼朝が征夷大将軍に任ぜられた年である。最近の学説では平家が壇ノ浦の戦いに敗れて滅亡し、守護地頭が配置されたのが1185年から、この年を鎌倉時代の幕開けとする説が有力になって“いい箱作ろう鎌倉時代”になっているという。貴族政治から武家政治への移行期である。

竹内先生の講演を聞きながら、小学校修学旅行で中央線の汽車に乗って鎌倉鶴岡八幡宮に行ったことを思い出した。事前に「鎌倉」という《七里が浜の磯伝い稲村ヶ崎名将の剣投ぜし古戦場》の歌を教わった。今でも曲を覚えている。

定年後の東日本大震災の年(平成23年)9月に所沢から鎌倉街道を伝って徒歩で鶴岡八幡宮に2回目の参詣をした。大船市の東から八幡宮へ向かうと山に囲まれた鎌倉市が天然の要塞であることが理解できた。講演の主人公である比企能員については小川町在住の友人から聞いていたが、今回先生から写真付きで子細にお聞きし理解を深めることができました。木曾義仲や一族郎党悉く滅ぼされた比企一族は平家滅亡と共に鎌倉の歌の旋律のようにもの悲しく哀れである。“いい国”など言えるような時代ではなかったのではないかと。その後になるが所沢にも白旗塚や將軍塚、小手指ヶ原など鎌倉時代の戦の遺跡は多い。

☆ 文芸講座を聴いて想うこと 島川 謙二 （葵の会）

▼今年度の文芸講座『動乱の鎌倉期を生きた郷土の武将と文学』は、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』にマッチしたものです。竹内先生は以前『平家物語』を講義されて、私も『敦盛』を皆と一緒に『人間五十年下天のうちは比ぶれば・・・』とやりましたので桃井直詮の幸若舞で『化天のうちは』とやる違いについて質問しました。

▼今回は『木曾義仲』と『比企能員』を10数ページのカラーの資料をもとに、先生が比企や狭山に実地に行かれての講義で、最後は能『巴』を熱唱されました。『太平記』には北条氏一族が切腹して滅んだ

とありますが、なぜ切腹が鎌倉時代に定着したのでしょうか？

▼木曾義高（市川染五郎）のういういしさ、比企尼（草笛光子）が頼朝（大泉洋）を平手打ちで叱る場面の痛快さ。覇権をめぐる権謀術数を描き、政子と義時の姉弟愛を描いても、より大きな『ヒューマニズム』までは・・・。頼朝は『一過性の脳虚血発作』で落馬し、その後『歯周病菌による脳卒中』で亡くなったと『吾妻鏡』などから推察されています。歴史の面白さです。

☆ 文芸講座を受けて 桃井 俊江 （葵の会）

NHKの大河ドラマ“鎌倉殿の13人”が始まって間もなく、ロシアがウクライナに侵攻をはじめた。今まで穏やかな毎日を送っていたウクライナの人々の生活が破壊されていく様子を、毎日ニュースで見ていると、同じような権力闘争を行っているテレビドラマがダブって見え、とてもドラマなど見る気がなくなりました。

今回竹内先生に鎌倉期の郷土の武将という事で比企一族、木曾義仲を中心に、お話をお聞きした。“つわものどもが夢の跡”が思い出されて、権力闘争の

繰り返しは、やはり何時の時代でも侘しい。しかし、そんななかで、頼朝と義仲はそれぞれ、幼い時、殺害されても仕方がない状況であったにも拘わらず、その幼い子を救い、育てた人がいたことにホッとする。

今まで歴史を学んでも、それはその時代の話として聞いていたが、近くの地名が出てきたことで、遠い昔の話ではなく、今に繋がる話として聞くことが出来、この時代を駆け抜けた人々に畏敬の念を覚えなくてはならない。

## 《音楽家から見える世界》

## 時局講演会の感想



事業部長 松尾 基昭

この度の時局講演会には、コロナ感染下の暑いお盆明けの中、154名と予想を超える参加者の方々にお集まりいただきまして、ありがとうございました。

音楽家の勢いからか「一部時局講演の内容から外れますが」とのご本人の弁もありましたが、総じて素晴らしい講演会だったと思います。文化庁文化交流使として南米4か国（エクアドル、アルゼンチン、チリ、ペルー）西欧2か国（英国、オーストリア）での音楽活動を通し、音楽の持つ人類、言語、環境を超えた共通性を肌で感じたという深い話、そして、その地域での鍵に纏わる安心・安全の話、又今のデジタル時代ならではの現地での交流で知己を得たウクライナ人やロシア人を通しての今の紛争下の話、最後にロシア・ウクライナ紛争に関わる現地事情やプーチンに関する話等、盛りだくさんの内容で皆さんに喜んで頂けたかと思います。

最後の質疑応答では参加者の方からのリズムについての質問に対し、言葉と踊り、歌を交えて非常に分かり易く明快に回答され、流石音楽家だと合点がいきました。来年6月に池袋のシアターでミュージカルの公演が決定、又再来年も企画が予定されているとのこと。先生の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

岡部 まさ子（ドラカン）

四年前、先生が文化交流使として、エクアドル、チリ、ペルー、アルゼンチンの南米4カ国を訪れ、其々の国の音楽家と交流、演奏会を催した体験や旅先でのエピソードは、まるで、私達が同じ空間にいるような話題盛沢山な一時でした。そこには他者とのフラットな関係を大切にされている先生のお人柄が窺えます。

音楽は人間の感情や感覚に根ざした表現形態である事を再確認されたという話は、大変興味深く、私達が人間という生物体であること、自身の感情や感覚に自覚的になる事の大切さに改めて気づかされ、共感しました。

今、コミュニケーション始め、様々な事が機械化されていく社会の現状の中であって、生物体としての人間である自覚が希薄になっているように思われます。心身の健康の為に、音楽が果たす役割は大きいのではないのでしょうか。そして何より先生の創られた美しい旋律のオペラ「人魚姫」が、一日も早くウクライナで上演される日がきますように願っています。

野口 喜美夫（食トコ）

笠松先生は非常にリラックスした様子で、思いつくまま世界各地の音楽の特徴や音楽家の様子を述べていたと思います。その中で、特に印象に残った言葉があり、考えさせられましたので、記載します。

「日本の音楽は世界の音楽家達になかなか理解されず、演奏も難しいようだ」雅楽などは、どちらかと言うとメロディー主体だと感じていたので、西洋のリズム主体の音楽に慣れている人達にはやはりそうか、と納得する思いです。「子供からピアノが欲しいと言われ、渋っていたら海外の親がグランドピアノを送ってきた」。音楽の世界も“経済原則”か！？良い楽器を与えたい気持ちは分かるが、学校のピアノで練習し、音楽コンクールで優勝した松岡三恵の実例もあり、才能を開花させるのは一にも二にも本人の熱意では。

その他色々ありますが、今回は時局講演というより笠松先生のエッセイのようで、面白かったです。このような機会を設けて頂いた、ところざわ倶楽部に感謝です。



## サークル活動報告

## 懐かしの映画・鑑賞会

内川 賢治



コロナ感染症が収まる気配のない 2022 年ですが、定例上映会の紹介をします。

上映会場内では、マスク着用、手指消毒、換気等、感染対策を徹底して鑑賞しています。

鑑賞した 1 作品紹介します。《王将》坂田三吉の勝新太郎、妻中村玉緒、相手棋士仲代達也  
三吉の無鉄砲な生き方、玉緒の献身的な世話女房、最後は三吉が真面目に棋士として戦っていく、そして 9 段に昇段して仲代も 9 段になり東西の王将生まれる。当時は 9 段が将棋界では最高位でした。これから世話

になった妻に恩返ししようとした矢先、妻は癌に侵され亡くなります。涙の出る映画でした。

懐かしの映画鑑賞会では、暮らしの歳時記他、色々な行事を行っています。今回、ところざわ倶楽部まつりに積極的に参加し盛り上げましょうと二上拓夫会長から発言がありました。同級会音頭、ところざわ音頭、炭坑節、ビデオを見ながら踊りを練習しています。写真の後ろは、踊りの練習のビデオです。

映画って楽しいですね。一人で見ると楽しいですが多くの人達と見る映画も楽しいです。

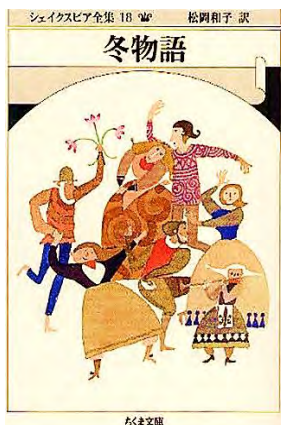
是非、懐かしの映画見に来てください。

## 懐かしの映画・鑑賞会

開催日 : 毎月 (原則) 第 2、4 火曜日  
場所 : 熊野神社境内 西新井会館  
上映時間 : 10 時～12 時  
代表 : 二上拓夫  
TEL : 080-1250-6151

## ドラマティック・カンパニー

高橋 信行



松岡和子訳のシェイクスピア原作・「冬物語」の輪読が終わりました。猛暑続きに「冬物語」で恐縮です。

この戯曲はいわゆる「ロマンス劇」と称されるものの一つで、ロマンス劇と言えばロマンティックな劇や恋愛ものが想像されますが、現実離れた空想物語のことです。

英文学者河合祥一郎博士

によれば、元来ロマンス語(中世世俗ラテン語から派生したイタリア語、フランス語など)で書かれた中世の荒唐無稽な物語をさし、冬物語でも「デルフォイ」の神託が現実となったり、長い年月を経て友情がもどり、死者が復活しての大団円となります。

前半は、王妃を不義密通で疑い嫉妬に狂った王が王妃を投獄し獄中で生まれた女兒も追放したが、後に誤り

だとわかり 16 年もの間深い後悔と悲嘆の中に暮らす暗い物語→「冬」

後半は、王女は王と劇的に再会し、疑われた親友王の王子と結ばれ、また死んだはずの王妃が生き返り、ハッピーエンドに終わるといふ明るい物語。

この物語のテーマは「信じる力」と訳者はあとがきで述べています。劇中人物も観客も、信じる力によって現実ではありえないことを「信じさせてくれる」のが「冬物語」です。



ロンドン・シェイクスピア劇場グローブ座

# サークル活動計画

## 興味のある活動に参加してみませんか？

### 1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

9月15日(木) 中央公民館7号室 13:00～13:30 受付・準備、  
13:30～15:30 及川先生講義 15:40～16:40 例会  
10月13日(木) 研修バス旅行(足尾銅山方面)

### 2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月21日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会  
テーマ:フリージャーナリスト 前川仁之氏による  
「肌で感じた韓国」  
10月19日(水) 13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会  
所沢市出前講座「米軍所沢通信基地」

### 3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

9月21日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会  
ところざわ倶楽部まつりのリハーサル  
「フレイル予防」について発表内容聴講  
10月26日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会  
テーマ未定

### 4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

9月6日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室  
ロマンティック・コメディ映画「マンマ・ミーア」  
9月29日(木) 「ところざわ倶楽部まつり」コーラス参加  
10月11日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室  
ワーグナー歌劇「さまよえるオランダ人」小澤征爾 指揮

### 5. 食を通して所沢を知る会(岡部 まさ子 080-5872-1868)

9月20日(火)10:00～ ふらっと  
ところざわ倶楽部まつりパネル作り  
9月27日(火) トコトコ農園見学  
9時50分 小手指駅集合

### 6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

9月20日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館  
定例会:エネルギーや食糧安保問題を討議  
9月26日(月)10:00～12:00 新所沢東公民館  
読書会:「グリーン・ウォッチ2022」グリーン連合編 第2回

### 7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

9月14日(水)13:15～15:00 中央公民館 学習室3号  
定例会テーマ「われわれの2025年問題とは？」  
〈スマイルパイレーツの練習日〉見学大歓迎  
9月10日(土)13:30～16:00 中央公民館 学習室6号  
9月24日(土)13:30～16:00 中央公民館 学習室8・9号

### 8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

9月8日(木)13:00～15:00 定例会 15:00～17:00 まつり練習  
新所沢公民館  
9月15日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 まつり練習  
9月20日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア  
9月22日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 まつり練習

### 9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

9月15日(木)9:30 「高橋玄洋・人工樹林」の舞台を歩く  
中央公民館～小説の舞台を散策～12:00頃 解散  
10月6日(木) 五日市憲法の町(五日市郷土館等) 散策(予定)  
10月20日(木) 三ヶ島散策(歴史と文化を尋ねて)  
ところざわ倶楽部との共催企画(妙善院・中氷川神社、他)

### 10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

9月24日(土) 10:00～12:00 中央公民館 学習室3号  
「冬物語」朗読  
10月1日(土)、10月15日(土)10:00～12:00  
中央公民館 学習室3号 事項は未定

### 11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

9月13日(火)10:00～12:30 西新井町会館  
洋画「戦場のピアニスト」'02年有名なピアニスト実体験  
9月27日(火) 10:00～12:30 西新井町会館  
邦画「トラック野郎」( '77年)東映 菅原文太・愛川欣也  
トラック野郎 5作目 一度胸一番

### 12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

9月26日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館・多目的室3号  
内容:「認知症の方への接し方をゲームで学ぶ」  
講師:志寒浩二氏(介護福祉士、「きみさんち」施設管理者)  
10月22日(土) バーベキュー・彩の森公園にて  
集合場所等、詳細は参加者に後日ご連絡

### 13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

9月21日(水) 新所沢東公民館 研修室6・7号  
グループ学習の上期報告会～地球環境G、地域公共交通G、市  
議会G、下期10～12月の企画検討など  
10月17日(月) 10月例会 テーマ未定

### 14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

9月16日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館  
多目的室3号(3階) 定例会  
9月2日に引き続き「ところざわ倶楽部まつり」参加演目の読み  
合わせを中心に行う。  
9月29日(木)「第2回ところざわ倶楽部まつり」参加

### 理事会報告

- ・8月17日に開催されました笠松泰洋先生による時局講演会は、理事の皆様方のご尽力により、一般・当日参加を含め154名の来場を得て、好評裡に終える事が出来ました。
- ・9月29日のところざわ倶楽部まつりにおいて、特別出演を予定しておりました佐井佳代子先生の「音楽療法」講演は、現時点の感染状況に鑑み中止となりました。

### お知らせ

- ・所沢市民大学のOB組織二団体による、第28期受講生向けの説明会が、9月13日(火)午後4時20分から生涯学習推進センターにおいて行われます。

### 第9回理事会の開催

- ・9月12日(月)午前10:00～12:00 新所沢東公民館 講堂

## みんなの広場 第42回

自然と農業サークル  
岩崎 トキ子

1月の落ち葉掃き



## 市民大学卒業後

26 期を修了させていただきましたが二年以上前に世界旅行を予約していたため残念ながら修了式に出席できませんでした。帰国後すぐコロナが発生翌3月に自粛が始まりました。旅で知り合った外国の友人たちも2月末に各々帰国しました。

その後、自然と農業サークルに入会させて頂き、総会、定例会、ボランティアなど参加させていただきましたがマスクのせいか今だ会員のお名前とお顔が一致しない方が多くいらっしゃいます。私にとって農業に関する知識は無とっていい程のもの、落ち葉ひろい、枝ひろい茶摘みすべて初体験で楽しくもあり新たに小学校に入学したような気分です。

2022年2月ロシアのウクライナ侵攻が始まり、3月には対ドル円相場の推移に驚き、4月には東京で働く外国の友人が「沖縄に空港を作るため沖縄に転勤になった」と挨拶に来られ、7月には安倍さんが銃撃され・・・卒業後の僅かな間の動きに驚くばかりです。一日も早くコロナ収束と平和な日々に戻って欲しいと願っております。

## むさし野俳句会（令和四年八月）作品抄

器量好しよくぞ揃へてさくらんぼ 平栗 彰子  
四十度月も隠るる猛暑かな 宮本 信生  
ソーダ水赤毛のアンの青春編 荒幡千鶴子  
教会にゴスペル聞こゆ雲の峰 井出 昇  
箱釣や目当ての金魚浮くを待つ 海老澤愛之助  
富士詣三米の浄土かな 小林 貞夫  
むさし野俳句会にも新型コロナ感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に（）照会下さい。  
連絡先 佐藤（八） 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

空濠の障子堀とや夏木立 佐藤 八郎  
改築の完成近し夾竹桃 白神 恵子  
縦縞の爪にマニキュア夏の宵 高梨 千代  
招かれて丸かじりする卓の枇杷 中嶋 弘子  
風鈴や園児しずもる十三時 橋本 佑子  
夾竹桃また巡り来る原爆忌 鈴木 征子

## 《編集後記》

「メメント・モリ」死をわすれるな。この言葉はサークル、ドラマティックカンパニーでも話題に上ったことがあります。ウイルス、そして戦争。私たちの周りでは俄かに死を連想するような事象が次から次へと起きています。ましてや自身の年齢を思うとき、死は一層身近なものに感じます。とはいえ、ほぼボーッと過ごしておりますが。

先日ある本で「カルペ・ディエム」という言葉と出会いました。メメント・モリとは対句になるこの言葉、直訳は「その日の(花を)摘め」です。何だかとても深い。“今”を生きなさい、ということなのですね。キッチンに立っていてふと思うことがあります。もし体が動かなくなった時、こんな何気ない毎日のルーティンもいとおしい時間だったと思いつ返すのだろうなと。

心を、そして言葉、身体をつくして日々丁寧に、そして愉しく暮らしたい。  
(大木：記)

## 川柳 [七十六] 作品発表選 中島峯生

## 課題「借りる」

大昔お風呂を借りる当たり前  
極くたまに借りたけれど猫いない  
借り物の浴衣姿にほれなおす  
隣り家に味噌借りにいくいい時代  
いつ返す国の借金誰払う  
本借りるエコ生活の基本形

詠 庵 閑 笛  
ど 突 拍 子  
詠 突 拍 子  
う 文 人  
好 文 人

## 「自由題」

ブーチンは壊し殺して地獄行く  
年齢聞かれとさの言葉一つ下  
夢と寝る毎日楽しい果報者  
生きてるぞ安否告知の咳をする  
主義もなし有象無象の党だらけ  
夫留守黄金タイム友を呼ぶ

庵 閑 笛  
ど 突 拍 子  
詠 突 拍 子  
う 文 人  
好 文 人

次回（第77回）課題「先生」そして「自由題」

締切り日：9月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 [mh-naka@jcom.home.ne.jp](mailto:mh-naka@jcom.home.ne.jp) Fax 04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)